
地区からの御要望への回答と 今後の対応方針

令和3年12月

長野県飯田建設事務所

飯田市リニア推進部

東海旅客鉄道株式会社中央新幹線長野工事事務所

Q1 一級河川土曾川護岸の全面改修と毎年河床排土の実施すること。[三者]

- 土曾川については、本年度、河川管理者である長野県が天竜川合流部から下土曾川橋の区間について、測量及び調査を実施しております。調査結果を踏まえて護岸の整備方針を決定する必要があります。なお、緊急に修繕等必要な対策については、引き続き地域の皆様と随時調整しながら検討して参ります。
堆積土については、本年度も10月から実施していますが、引き続き異常埋塞している箇所など、緊急性が高い箇所から順次対応して参ります。[飯田建設事務所]
- 長野県、飯田市、JR東海の三者で情報を共有しながら必要な協議を重ね、課題解決に向けた対応方針を検討してまいります。[三者]

Q2 金井戸橋の架け替えをすること。[飯田市]

- 土曾川に架かる金井戸橋上流側の堂垣外橋につきましては、3m程度の現状幅員から6mに拡幅するため、今年度より架け替えを進めてまいります。工事中はご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、早期完成を目指して進捗を図ることとしておりますのでご理解、ご協力をお願いいたします。一方、金井戸橋につきましては、令和2年度に定期点検を行い、橋梁の状態を確認した結果、修繕工事により長寿命化を図るとともに適切な維持管理を行う橋梁と位置づけております。今後も、定期点検及び日常管理を行い、老朽化や通行に支障が発生する恐れがある場合には、速やかな対策を行うように努めてまいります。なお、完成後の堂垣外橋周辺道路の交通動態等も勘案するとともに、橋梁の長寿命化を計画的に実施していく中で、金井戸橋の整備につきましても検討していくことといたします。[飯田市]

Q3 (金井戸橋下の)下水道管を移設すること。[飯田市]

- 金井戸橋下の下水道管橋は、平成6年5月に河川管理者による河川法の許可を受けて平成7年3月に設置された公共下水道事業の座光寺幹線です。下水道管橋の水管底辺は、土曾川の護岸天端(てんば)より0.20m程高い位置にあり、また、計画高水位(H.W.L)より0.80m高い位置を通るように設置されています。河川法に基づき、河川断面が適正に確保されていることを前提に許可がされていると考えており、降雨による増水にも一定の安全性が考慮されているものと判断しています。[飯田市]

Q4 リニア駅周辺の雨水排水のルート決定は、住民の声を受け止め、適切に判断をすること。[飯田市]

- リニア駅周辺の雨水排水ルートにつきましては、案の段階から説明を行ってきております。Q5の回答とも関連しますが、今後も引き続き地元の方々の話しをお聞きしながら安全対策を第一に協議・検討を進めてまいります。[飯田市]

Q5 質問事項の回答に「検討する。協議を進める。」とあるものについては、検討結果を丹保まちづくり委員会と随時協議をすること。[三者]

- 今後、丹保まちづくり委員会の皆様と定期的な協議の場を設置し、長野県・飯田市・JR東海が連携し、「検討する。協議を進める。」と回答した事項や、様々な課題も含めて随時協議をいたします。[三者]